

ポリプラスチックス（株）に対し、 「DBJ環境格付」に基づく融資を実施

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）は、ポリプラスチックス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：塩飽俊雄、以下「当社」という。）に対し、「DBJ環境格付」に基づく融資を実施しました。

「DBJ環境格付」融資は、DBJが開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという世界で初めての融資メニューです。

当社は、「エンジニアリングプラスチックスの無限の可能性を追求し、才能豊かな魅力溢れる人材の創出と、Innovationによる豊かな未来社会の形成に貢献する。」との経営理念の実現のため、「事業活動そのもので社会に貢献すること」と「事業活動を通じて社会を良くする機会を提供する」ことの二つの側面からCSRに取り組んでいます。また、持続可能な社会の実現のため、環境負荷低減樹脂の開発・製造に取り組んでいます。

今回の格付では、以下の点を高く評価しました。

- (1) 海外グループ拠点も含めた ESH 監査の実施やパフォーマンスデータの開示に加え、グループ全体のサプライチェーン管理において CSR 配慮を促進している点
- (2) コントロールセンターにて製造工程を見える化し、プラントの稼働状況や電力使用量、水使用量等の常時モニタリングを通じて、製造の最適化・効率化やエネルギー使用量の削減を推進している点
- (3) 社内の CSR 活動を統合すべく、CSR 委員会や CSR グループを新たに設置し、中期経営計画や SDGs を踏まえ、全社的にビジネスと社会課題の解決を同期させた CSR 計画の策定を進めている点

その結果、当社は「環境への配慮に対する取り組みが先進的」という格付を取得しました。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、環境配慮型経営に向けたお客様の取り組みを積極的に支援してまいります。